

黎明会だより

No.168

編集・発行
社会福祉法人
黎明会

〒187-0032
東京都小平市小川町1-485

☎042-346-6611
<https://www.reimeikai1945.jp/>



年頭所感

社会福祉法人 黎明会

会長 佐々木 典夫

明けましておめでとうございませう。新年を迎えるということは、暦が新しくなること以外、特別に世の中が変わったわけでも無いのですが、新年を迎えて何かしら気分が一新し、新年に向けて頑張ろうとする気分になるのは誰しもが持つ感情のような気がします。

黎明会は本年10月をもって創立80周年を迎えます。この機会に過去の歩みを振り返り、今後進むべき方向に向かって役職員一同心をひとつにしてよりよき黎明会の発展に努めようと思っております。

私はこれまで平成24年10月から黎明会の理事長に就任し理事長を12年半勤め、令和5年6月に会長職に就任しました。会長職への就任に当たって黎明会に会長職が必要なのか、理事長との役割分担はどのようなか、考えるのかというように意見が理事・役職員から出たと

ころですが、この会長職は黎明会においては既に平成19年1月に東京都の副申のもとに厚生労働省から定款変更の認可を受けて従前は名誉職として規定されていた会長の職務を常勤の会長に改め「会長は法人の業務を統括する」と改めております。

これは黎明会の業務が南台病院をはじめ有料老人ホーム熱海ゆとりあ、老人保健施設、特別養護老人ホーム、救護施設(黎明寮、あかつきの2カ所)、知的障がい者福祉施設、知的障がい者B型作業所、居宅介護、訪問看護及び社会福祉開発援助事業等約10種類の事業を展開しており、事業が広範多岐に亘り1法人1施設の法人とは異なり、法人が3法人に分割して運営してもおかしくない実態にあり、かつ、各施設に課されている機能や役割は最近の利用者ニーズに合

せて極めて細やかな対応を求められていることから、代表取締役である理事長一人のもとで全体を統括することは無理があると言わざるを得ません。

私はたまたま厚生労働省勤務時代の社会福祉、生活保護、老人福祉、在宅福祉、有料老人ホームの指導を担当し、日本赤十字社に転職してからは人事部長、総務局長として労務管理を担当するとともに全国の82カ所の病院の経営指導に携ってきた経験があることから、何とか黎明会の運営を理事長一人の体制で法人の運営指導及び病院福祉施設の建設をこなしてききましたが、今後私のような広範な業務の経験者を理事長に確保することは極めて困難であると思っております。こうした事態に対応して法人の運営管理体制の強化をすることが必要であり、常勤会長はこのような観点から設置することにしたものです。

また、黎明会が本年創立80周年を迎えるに当たって、この機会に役員各位に心がけて欲しいことを述べさせていただきます。

それは、役職員が担当している業務についてはそれぞれ事の大小は別としてすべてさまざまな課題や懸案事項を抱えていると思えます。これらの課題や懸案事項については放置すれば、今後どのような問題が生じるのかを把握し、これを解決するためにはどのような方法や方向性があるのかをそれぞれの担当する役職員がきちんと問題意識を持って向き合うことが必要です。各自単独では問題の解決が困難な時は上司や同僚と相談して対応することが肝要だと思います。

こうした取組みのスタンスがないと課題や問題点は時の経過に沿ってますます大きな課題や懸案事項に肥大化します。黎明会においても法人本部、各施設長、各担当課長、各担当係長、現場担当はそれぞれが課題や懸案事項を抱えている筈です。

職場はこれらの問題を放置すれば、代りに手を付ける人がいない限りいつまでも課題や懸案事項が解決されませんし、問題点が深刻化します。

役職員各自は新年に当たり心を新たに課題や懸案事項に向き合い、この解消・解決に向けてどのような対応をすべきか、まずどのような手順で改革に手をつけようか、そして自分が在職していた時にどのような問題解決を進めたかの施設の方々にその取組みと成果を語る事が出来るような仕事を進めて欲しいと思えます。

人間は嫌な仕事はとかく敬遠しがちですが、やるべきことはいつか誰かがやらなければならぬのです。

新年に当たり自分の人生を振り返って、自分は職場で何を成し遂げたのかが堂々と言えるような役職員が育つことを心から祈念する次第です。

新春ご挨拶



社会福祉法人 黎明会

理事長 服部亮市

いきいきと働こう!!

昨年(元日)の能登半島地震の発生により大変過酷な幕開けとなり、さらに夏から秋にかけての各地の豪雨災害が相次ぎ、ひと時も心休まることなくあった年であったように思います。地震災害そして豪雨災害による爪痕は深く、復旧復興にはまだ時間と、被災者及び支援する人々のご苦労が続くものと思われまふ。改めて、被災された方々と救援・復旧復興に携わる方々に対して心からのお見舞いと御礼を申し上げます。

黎明会は9種類程にわたる事業を展開して利用者はもちろん地域における健康安全事業の普及にも貢献しています。それぞれの施設が独立して事業を展開しており、職員の皆さんにあっては、目の前の助けを必要とする人たちに手を差し伸べる業務に日々目いっぱい取り組んでいくというのが現実だと思われまふ。でもそんな時に利用者の方の背景には家族やそれぞれの暮らしがある(あった)のだと少し思いを馳せることは心に余裕を持たせざるきつかけになるかもしれ

ません。

また、自分の業務の個人的な課題解決や中長期のキャリアアップに向けての取り組みなど精神的な負担も大きいうえに、さらに所属する施設の組織的な課題すなわち事業運営の在り方や施設の老朽化問題など先送りはできない課題も横たわっていることにお気づきでしょうか。

このような問題意識は、中堅又はベテランの職員だけが共有するのではなく、1年も職場にいれば何となくそれなりに感じるのではないでしようか?むしろそうした新鮮な感受性を大切にして、「自分ならこう考えてこう取り組んでいきたい。」という想像力を常にもって、たとえすぐに実現ができなかったとしても腐らずに理想を高く持ち取り組み続けてほしい。できればそうしたことを職場の仲間とも話し合ってみて頂きたい。仲間を大切に、何気ない一言に新たな学びがあるかもしれない。仲間の存在はそれほど大きいと思います。

さらに、異なる施設が集まっている黎明会ですが、法人内他施設から学べることはないか、コラボレーションできる部分はないか等、施設同士が有機的な連携が図られて発展できるような組織でありたい。働く職員がみな生き生きとした顔でいられるように、私も理想をもう一度高くもち、任期を務めていきたいと思います。

社会福祉法人 黎明会

常務理事 逢坂 範子

我々は常に、時代の先駆けとなる黎明たらん!!

謹んで新年のお喜びを申し上げます。昨年7月1日付で常務理事を拝命いたしました逢坂と申します。改めまして、どうぞよろしくお願ひします。

黎明会は、今年で80周年を迎えます。ご存じの通り当法人は、戦後間もない東京上野周辺にあふれていた要援護者を救済した有志の活動からスタートした法人で、この間、時代の要請にこたえ、それぞれの時期に必要なとされた保健福祉、介護の事業に取り組み、時代を牽引してまいりました。黎明会80年の歴史に思いを馳せるとき、往時のロマンとこうした活動に身を投じ、黎明会の礎を築いてこられた先人達の熱意とご努力に敬意を表するとともに、ホスピタリティの真髄、福祉の原点そのものを想起し、誇りに思ふ次第です。

2025年は、団塊世代が後期高齢者を迎える年であり、少子高齢化が進行する中、国は地域共生社会の実現に向け、地域を基盤とする包括的支援体制の整備や「地域丸ごとのつながり」の具体的な取り組みを普及する観点から、新たに保健福祉分野における民間活力を活用した社会的事業の開発のための環境整備事業を通して、地域

社会福祉法人 黎明会

会長 佐々木 典夫

理事長 服部 亮市

常務理事 逢坂 範子

理事 (50音順) 敬称略

社会福祉法人全国社会福祉協議会

常務理事 金井 正人

社会福祉法人

小平市社会福祉協議会

会長 金子 恵一

診療施設 南台病院

院長 下山 克也

元 厚生省 児童家庭局

局長 瀬田 公和

元 社会福祉法人 黎明会

常務理事 中島 謙次

特別養護老人ホームやすらぎの園

施設長 三浦 りつ子

社会福祉法人

小平市社会福祉協議会

監事 三品 義之

監事

社会福祉法人

日本視覚障害者職能開発センター

理事長 片石 修三

川畑一良税理士事務所

税理士行政書士 川畑 一良

評議員

障害者支援施設 澄水園

保護者会会長 阿瀬知 久人



経済活動の活性化と参加者の健康増進、自立支援等の同時実現を目指す事業の支援に取り組んでいきます。地域共生社会とは、このような社会構造の変化や人々の暮らしの変化を踏まえ、地域住民や地域が多様な主体が参画し、人と人、人と資源が世代や分野を超えつながること、住民一人ひとりの暮らしと生きがい、地域をともに創っていく社会を目指すというものです。

今年の干支は、巳年です。

へびは、脱皮をすることから「復活と再生」を連想し、不老長寿や強い生命力につながる縁起のいい動物と考えられています。蛇をイメージする巳年は「復活と再生」を意味し、植物に種子がでまじめる時期、次の生命が誕生する時期など、新しいことが始まる年になるといわれ、また、「巳」を「実」にかけて「実を結ぶ」年ともいわれています。数年にわたる新型コロナウイルス感染症の感染拡大は、経済への悪影響のみならず、医療や福祉・介護の分野にもかなりのダメージをもたらしました。今年こそ、黎明会にとっても、新たな未来を再生するための大きな一歩となる一年にしていきたいと強く思っています。

夜明けは訪れる—どんなに暗く、先の見えない夜にも—、地平線のその先、おぼろげな陽光の気配は、やがて確かな黎明となる。

我々は常に、時代の先駆けとなる黎明たらん!!
(社会福祉法人黎明会パンフレットより)

令和7年が、皆さまにとって、さらに良い年になることを心より願っております。

診療施設 南台病院
院長 下山克也

世間では新型コロナウイルス感染症はすでに過去のものになっているようですが、医療現場ではまだまだ感染し受診する方もいます。重症化するよりは以前より減っているようですが、感染力はまだ強く、当院の令和6年でも入院患者、職員にも感染者が出てクラスタとなり、病棟の入院受け入れを中止せざるを得なくなったこともありました。まだまだ当院の経営状況は厳しい状態ですが、今年度も経営状態の改善にむけての努力を職員みんなで力をあわせて継続しますので、本年もよろしくお願いいたします。

法人本部

参与 小松 まり子

明けましておめでとうございます。法人研修では、令和6年度より新たに階層別研修の一部にオンライン研修を導入しました。理論と実践を統合させ行動変容に繋がることを期待しています。また、南台病院看護部で活用して

いたeラーニング研修を高齢者・救護障害者施設、在宅部門の看護職に拡大し専門性を高める継続教育として活用しています。

新たに導入した研修を評価しつつ、黎明会の求める職員像に立ち返り、専門研修、階層別研修のあり方を検討し、人材育成に努めてまいります。本年も宜しくお願ひ申し上げます。

法人本部

研修担当参事 土居 智子

あけましておめでとうございます。昨年は研修担当となり2年目を迎えました。黎明会ケアスクールには70歳を超えた方が受講されておりますが、還暦や古希を迎えても学ぼうという姿勢に大いに感銘を受けました。また、17歳というとても若い方もおり、世代を超えて同じ空間で協力し合っって学ぶことができるケアスクールの意義を改めて感じております。

法人研修では新たに階層別オンライン研修が開始され、職員のキャリア形成に役立っていると実感しております。今後は、介護職員の専門職としてのスキルアップを図るためにラダー制度を取り入れ、職員のさらなる成長の機会とし、安定した人材育成に努めてまいります。本年もどうぞよろしくお願ひ申し上げます。



元 小平市教員委員会
教育部長 有馬 哲雄

社会福祉法人

小平市社会福祉協議会
副会長 井上 正夫

元 小平市民生委員・児童委員
牛草 力ツ

元 東京都知事本局
理事 大井 泰弘

元 株式会社 日赤振興会
顧問 大給 乗龍

元 社会福祉法人 友愛十字会
常務理事 金井 博

(公財)日本障害者リハビリテーション協会
常務理事 君島 淳二

医療財団法人 日扇会第一病院
看護部長 栗原 サキ子

前 社会福祉法人 黎明会
常務理事 神波 豊

社会福祉法人 村山苑
理事 品川 卓正

社会福祉法人 トット基金常務理事
トット文化会館
館長 都丸 繁

小平市医師会 はやぶさ内科
院長 原田 篤

元 小平市民生委員・児童委員
古瀬 悦子

千葉商科大学
名誉教授 吉竹 弘行

小平市民生委員・児童委員
渡辺 レイ子

法人本部

事務部長 松本亜基広

明けましておめでとうございます。令和7年は黎明会にとって設立80周年を迎える節目の年になります。近年は新型コロナウイルス感染症の影響を契機に在宅勤務が各社で実施されるなど、時代の移り変わりを感ぜさせられます。医療・福祉の分野においても、令和6年の各種報酬改定では、世情を反映した加算の設置が見受けられました。

設立80周年を迎える黎明会の5つの理念の一つは『福祉事業のパイオニアとして、時代が求めるものを目指します。』という言葉があります。この言葉には黎明会がこれまで培ってきた伝統に甘んじることなく、挑戦する精神を表しているように感じられます。

令和7年を迎えるにあたり、「求められる法人」、「選ばれる法人」を目指し職員一丸となって挑戦していく所存です。本年もどうぞよろしく願い申し上げます。

障害者支援施設 澄水園

施設長 香遠 亨

昨年中は澄水園に対しまして、ご支援とご協力を賜り、無事新しい年を迎えることができました。心より御礼申し上げます。世界的パンデミックの影響から脱し、私たちの生活も少しずつではありますが、

以前の状態に戻りつつあります。ご家族様の面会やイベントの開催等も増え、利用者様の笑顔もたくさん見られるようになってきたことが何よりもうれしく感じています。これもひとえに職員一人ひとりの努力の結果だと思っています。今後は地域福祉の貢献と地域の住民の方々、関係者との繋がりを大切に、職員も利用者も笑顔あふれる澄水園にしていきたいと思います。本年も宜しくお願い申し上げます。

救護施設 黎明寮

施設長 水口 篤

皆様には穏やかな1年をお迎えのことと思います。新型コロナウイルスが5類感染症となつて1年以上が経過し、外部ボランティアの皆さんの受入れや1泊旅行なども再開し、寮生活もコロナ前の状況に戻りつつあります。

さて、昨年は厚労省より救護施設の今後のあり方について一つの方向性が示され、制度改革が行われました。具体的には福祉事務所と連携し、利用者一人ひとりの個別支援計画をしっかり立て、地域移行支援や就労支援を積極的に進めていくというものです。黎明寮では今までもきめ細かな入所支援と同時に、寮を終の棲家とせず利用者の皆さんの自主自立を支援してきましたが、制度改革に伴い、今以上に利用者の皆さんの意思を尊重し、地域移行やその定着支援に

努めてまいりたいと思っております。本年もどうぞよろしく願いいたします。

救護施設 あかつき

施設長 池島 祐二

あかつきの改築計画について、東京都へ補助金交付申請を行ってまいりましたが、3年連続で採択されませんでした。国の施設整備予算の関係で、今後も採択される見通しは低いであろうと考えられます。しかし、施設の老朽化の対応は待たなしです。そこで、一旦改築は見送ることとし、大規模修繕で対応していくこととしました。利用者の安心と安全を守るよう、都度、丁寧な改修・修繕を行うことで、できる限り長期にわたり現在の建物を大切に使い続けていきたいと思っております。将来、あかつきの建物を黎明会のレガシーとして後世に遺していければと切に願っています。本年もどうぞよろしく申し上げます。

特別養護老人ホームやすらぎの園

施設長 三浦りつ子

新年おめでとうございます。やすらぎの園は、令和6年3月1日、開設40周年を迎えました。

その節目である令和6年度は、施設の目標として「原点回帰」をスローガンに掲げてスタートしました。「原点回帰」とは、初心や基本に帰る事、または立ち戻る事を指し、その文字通り「原点に回り帰る」と

いう意味になります。職員が支援に行き詰まった時、「利用者本人にとって何が最善か」と、常に利用者の立場で考えるその「原点」を大切に参りました。

昨年より面会やボランティア等の制限が緩和され、徐々にコロナ禍前の生活に戻りつつあります。ご家族の面会や様々なイベントの開催等も増え、ご利用者の笑顔が多く見られるようになってきたことは大変嬉しいことだと感じております。

「原点に回り帰る」行動が、職員一人ひとりの成長と資質向上につながり、ご利用者、ご家族の皆様にも質の高いサービスが提供できるよう、日々のケアに取り組んで参ります。本年もどうぞ宜しくお願い申し上げます。

診療施設 南台病院

事務部長 小松 正人

明けましておめでとうございます。令和5年5月に新型コロナウイルス感染症が第5類に移行しましたが、その後も第9波・第10波・第11波と感染の波が押し寄せています。そのため、まだ油断できない状況です。また、この時期にはインフルエンザの流行もあるため、当院では発熱外来を開いており、月曜日(土曜日(祝日除く))毎日検査を行っています。これからも、患者様が安心して

受診・入院ができるよう、また、地域住民の健康管理についても、地域に貢献できるよう努力していく所存です。

今年もよろしくお願いいたします。

診療施設 南台病院

看護部長 片岡 智恵子

明けましておめでとうございます。南台病院では、一般病棟・地域包括ケア病棟・医療療養病棟の3つの病棟を運営しています。昨年6月には、診療報酬改定があり医療療養病棟の医療区分が大幅に変わり、地域包括ケア病棟も在院日数によって診療単価が変わるなど厳しい改定となりました。さらに新型コロナウイルス感染症対策も5類に変わりましたが、時々患者・職員の陽性報告があり、その都度入院がストップする等気の抜けない状況が続いています。

そんな中、昨年には4年ぶりに白衣をリニューアルしました。少しカラフルになりましたが、入院患者様からは「病棟が明るくなり華やかになったね」「自分達も元気になるそうだ」との声を頂き、職員も「笑顔」が多くなり張りきって仕事をしています。

今年も、感染対策を継続しながら、職員が一丸となり日々の看護・介護ケアに取り組んでいきたいと思っております。今年もよろしくお願い致します。

就労継続支援B型 のぞみ作業所

所長 平田 通

新年、明けましておめでとうございます。

2025年「巳年」の幕開けです。新型コロナウイルス感染症が「5類感染症」に移行され、昨年は5年振りに、利用者・保護者の協力の下、「のぞみ祭り」、「1泊2日旅行」を開催することができました。各種のイベントを通じて、利用者の皆さんの笑顔が戻り、コロナ以前の生活が徐々に戻ってきているように感じています。

作業所では、健康で過ごせる日常に感謝しつつ、利用者の皆さんに楽しい就労の場を提供できるよう努めてまいりますので、本年も引き続きご理解とご協力のほど、よろしくお願いいたします。

介護老人保健施設 けやきの郷

施設長 阿部 和也

明けましておめでとうございます。旧年中のご厚誼に感謝申し上げます。新年とはいっても、けやきの郷は何の切れ目もなく、利用者さまのADL向上と更なる経営改善に向け旧年の取り組みを(一層強化して)続けていくのみです。医療介護を取り巻く環境が厳しいことも変わリません。ご承知のとおり介護業界は人手不足が深刻で、当施設もギリギリの職員数で運営しておりますが、幸いなことに職員

の質には恵まれており、皆が全力で仕事に当たっております。新型コロナウイルス感染症が5類に移行したこと以前に日常が戻りつつあります。利用者さまが生き生きとリハビリに励める施設を目指し頑張りますので、本年もご指導ご鞭撻をお願い申し上げます。

有料老人ホーム熱海ゆとりあの郷

総支配人 鈴木 高夫

明けましておめでとうございます。熱海ゆとりあの郷は開設40周年を迎えます。昨年、正面玄関外壁白壁と緑色の屋上飾り屋根、駐車場壁等の化粧直し塗装でリフレッシュを行いました。館内設備面ではご入居者の安全安心の要である、緊急コール設備を全館一新、居室からの緊急通報時は勿論ですが、室内で12時間経過時に動きが感知されない場合でも事務所に自動通報されるスタッフが駆け付けます。共用部の要所にもコール設備を増設しました。東海地震災害発生時等の訓練も計画的に実施し館内非常用電源や消防設備更新等の備えを進めてまいりました。生活サービス面では温泉設備の改良、毎日の美味しい食事や運動、外出、館内イベント、診療所での医療体制、介護等を充実させ、熱海駅までの専用バスも1日9便あります。これまでの歴史の積み重ねから、更に新しいサービスやプログラムを創出して、ゆとりあの郷で生活することの豊

かさを満喫いただけるよう努力してまいります。

在宅サービス総合センター

センター長 小川 容子

新年あけましておめでとうございます。近年高齢者の問題の一つとして、認知症高齢者の増加があります。小平市においても高齢化率が高くなると同時に、認知症の高齢者も増えていきます。在宅サービス総合センターでは認知症の専門的知識を持つ職員を育成するために、東京都認知症ケアプログラム推進事業アドミニストレーター研修を職員5名が修了しています。認知症の行動・心理症状(BPSD)の発現を未然に防ぐ、あるいは症状出現時に早期に対応する適切なケアができるように、研修を修了した職員がアドバイザーとなり、職員の認知症ケアの向上につながるように取り組みたいと思っています。高齢者の権利を守り、認知症があっても地域で生活できるように、今年も職員全員で取組んでまいりたいと思っております。本年もどうぞよろしくお願いいたします。



黎明寮 秋祭り

令和6年10月5日(土)、黎明寮秋祭りを開催しました。

前年まではコロナ禍の影響から法人施設利用者のご家族を対象とした限定的な開催でしたが、今年度はコロナの影響もようやく落ちついてきたこともあり、5年振りに地域住民の皆様にもご参加いただいた秋祭りとなりました。

開催に当たり、近隣の方々に秋祭りのお知らせを配布させていただいた際は、「今年ではできるのね、楽しみだわ。」「あら、子どもが楽しみにしているのぜひ行きますね。」といったありがたいお言葉をいただき、職員が思っている以上に、黎明寮秋祭りが地域の皆様に浸透していることを実感しました。

当日は、小雨が降り続く中での開催となりましたが、近隣の福祉作業所などの参加や、あかつき、澄水園のぞみ作業所など法人施設からの出店に加えて、ステージではソウルスパイスさんによる若者のダンスショー、小平の地域宣伝隊コダレンジャーによるヒーローショーなどで会場全体が大いに盛り上がり、秋祭りらしさを感じられた1日となりました。来年は、今年度の内容を振り返りつつ、より一層活況あふれる秋祭りを開催できればと思います。

今回ご協力頂きました関係団体の皆様、開催を温かく見守っていただいた地域住民の皆様、また法人内各施設には、この場をお借りして改めて厚く御礼を申し上げます。
(洞ヶ瀬)



澄水園 秋祭り

令和6年10月19日(土)午前10時頃から午後3時までの時間で、3階の活動室や1階の食堂を利用して秋祭りが行われました。

昨年までの秋祭りでは、新型コロナウイルス感染症が流行しているた

め、外部からの演者の受入はオンラインで行うなど感染対策をしておりました。新型コロナウイルスが園内で発生するとフロアを閉鎖している状況となり開催が心配されましたが、職員が一丸となって感染症対策を行い、無事に開催されました。

令和6年度の秋祭りは、新型コロナウイルス感染症も5類に分類されたことや園内の状況をふまえて、外部から太鼓演奏「奏楽(そら)」の方々にお願いいただき、迫力のある太鼓の演奏を体感しました。

午前中は、お祭りですので縁日をイメージした「魚釣り、輪投げ、お面」をはじめを着た職員が支援して、多くの皆さんが楽しんでいました。順番に誘導して、好きな縁日をゆっくり楽しまれて、有意義な時間が過ごせたと感じております。

昼食は皆様の大好きな「カレーライス」を楽しまれており、利用者さんの姿を見ると、毎年このような行事ができることを目標に日々支援していきたいと思えます。

最後になりましたが、当日演奏して頂いた「太鼓演奏奏楽」の皆さま、ありがとうございました。(金井)



赤い羽根共同募金

令和6年10月1日(火)～15日(火)まで赤い羽根共同募金を実施しました。

街頭募金を小平駅(のぞみ作業所)、小川駅(澄水園)、東大和市駅(あかつき)、玉川上水駅(黎明寮)、多くの方々に募金をしていただきました。

結果は、昨年の55,981円を上回る90,519円の募金が集まりました。

募金は社会福祉法人東京都共同募金会に送らせて頂きました。ご協力いただきました皆様、ありがとうございます。(檜山)



市民公開講座実施の報告

テーマ 「のばせ健康寿命」
～ロコモ予防、

いつまでも自分で

歩き続けるために～

日時 11月2日(木) 14時～15時半
場所 黎明ホール

地域住民の皆さまに病気とその予防について正しい知識を持っていただき、ご自身やご家族の健康増進に役立てて頂くことを目的に開催いたしました。あいにくの雨模様の中、35名の参加がありました。

今年度は、南台病院整形外科・リウマチ科の河路医師よりロコモのしくみやロコモ度テスト、運動習慣の重要性について講演がありました。その後、効果的な運動について、理学療法士によるデモンストレーションを交え、参加者も一緒に体験しています。

また、老人保健施設やきの郷が導入している歩行解析ソフト「トルト」について紹介し、6名の参加者に体験して頂き好評を得ました。

(小松)



介護職員初任者研修の

講師を担当して

澄水園 大柳 稔

担当科目

「排泄に関連した、

～こころからだのしくみと自立に向けた介護」

黎明会ケアスクールの初任者研修の講師として声をかけて頂いたときには、私で良いのか、うまく教えることができるのか不安がありました。どうすれば分りやすく教えることができるのかとても悩みました。

現在、私は排泄についての実技を主に担当しています。毎回、終了時にはあの教え方で良かったのか、分かっていただけたのかと振り返ります。オムツの構造や機能を説明し、実際に受講者の皆様に装着させて頂きます。様々な装着の方法で体験し、利用者の尊厳を念頭に、何が心地よかったか、悪かったのか皆で考えます。また受講者同士が互いに援助し合い、技術の習得を目指します。

講師を担当し、改めて言葉にしながら教える事の難しさを感じました。私自身改めて気づくことも多く、教えることで自身の成長にもつながり、とても良い経験をさせて頂いています。今後ともよりよい講義を行えるよう努力してまいります。

ありがとうございました

寄贈者ご芳名(順不同)

令和6年8月・9月・10月

☆物品

シルバーカー
ポータブルトイレ
杖・絵画

行事予定

1・2・3月 ()内は日付

◆黎明寮

1月 日帰り旅行(10)

新年会(21)

2月 節分(未定)

3月 ひな祭り(未定)

◆あかつき

1月 新年会(21・30)

◆澄水園

1月 新年会(10)

◆やすらぎの園(従来型)

1月 獅子舞(8)

2月 節分(1)

3月 お花見(未定)

◆やすらぎの園(ユニット型)

1月 獅子舞(8)

2月 節分(1)

3月 お花見(未定)

◆デイサービスやすらぎ

1月 新年会(15・16)

初詣(15・16)

2月 節分(未定)

3月 お花見(未定)

◆けやきの郷

1月 新年会(未定)

2月 節分(未定)

3月 ひな祭り(未定)

◆在宅サービス総合センター

1月 オレンジカフェ(23)

2月 オレンジカフェ(27)

3月 オレンジカフェ(27)

※オレンジカフェとは認知症カフェのことです

時間 14時~15時30分

場所 上水新町地域センター12階和室

◆のぞみ作業所

1月 新年会(4)

3月 日帰り外出(7・21)

保護者会(27)

◆熱海ゆとりあの郷

1月 新年祝賀会(1)

三嶋大社初詣(7)

2月 運営懇談会(28)

3月 ゆとりあ総会(24)



黎明会の運営理念

―五つの目標―

- 一 利用者の立場で考え、心のこもったサービスを提供します。
- 二 保健・医療・福祉の総合機能を活かし、質の高いサービスを提供します。
- 三 地域と協働し、広く社会に貢献します。
- 四 常に自らを磨き、活力ある職場づくりに努めます。
- 五 福祉事業のバイオニアとして、時代が求めるものを目指します。

南台病院 診療科目一覧表

☎042(341)7111

〔受付時間〕 午前 8:30~11:30
午後 1:00~4:30

診療日	診療時間	内科	消化器内科	循環器内科	精神科	整形外科・リウマチ科	リハビリ科	皮膚科	歯科
月	午前 午後	○ ○	○ ○	○ ○	○ ○	○ ○	○ ○	○ ○	○ ○
火	午前 午後	○ ○	○ ○	○ ○	○ ○	○ ○	○ ○	○ ○	○ ○
水	午前 午後	○ ○	○ ○	○ ○	○ ○	○ ○	○ ○	○ ○	○ ○
木	午前 午後	○ ○	○ ○	○ ○	○ ○	○ ○	○ ○	○ ○	○ ○
金	午前 午後	○ ○	○ ○	○ ○	○ ○	○ ○	○ ○	○ ○	○ ○
土	午前 午後	○ ○	○ ○	○ ○	○ ○	○ ○	○ ○	○ ○	○ ○

◆黎明会が経営している施設・病院◆

〒187-0032 東京都小平市小川町1-485

- ◇黎明会法人本部総務局 ☎042(346)6611
- ◇在宅サービス総合センター
小平市地域包括支援センター(けやきの郷) ☎042(349)2321
- 指定居宅介護支援事業所 ☎042(345)5343
- みなみだい訪問看護ステーション ☎042(341)8880
- 訪問介護ステーションみなみだい ☎042(346)1171
- 在宅・福祉用具相談取次事業 ☎042(346)1171
- 地域生活支援センター澄水(障害児等相談事業) ☎042(346)7412
- ◇障害者支援施設 澄水園 ☎042(346)7411
- ◇救護施設 黎明寮 ☎042(341)0336
- ◇救護施設 あかつき ☎042(341)4711
- ◇特別養護老人ホームやすらぎの園 ☎042(345)0617
- ◇デイサービス やすらぎ ☎042(313)4040
- ◇診療施設 南台病院 ☎042(341)7111
- ◇介護老人保健施設(けやきの郷) ☎042(345)5321
- ◇けやきの郷 デイケア ☎042(349)0770
- ◇けやきの郷 訪問リハビリテーション ☎042(345)5321

〒187-0001 東京都小平市大沼町2-12-5

◇指定就労継続支援B型事業所 のぞみ作業所 ☎042(342)5711

〒187-0025 東京都小平市津田町2-5-5

◇指定共同生活援助 グループホームどりむ・のぞみ ☎042(347)6160

〒187-0032 東京都小平市小川町1-444-28

◇指定共同生活援助 グループホーム第2どりむ・のぞみ ☎042(343)5060

〒187-0032 東京都小平市小川町1-497-8

◇指定共同生活援助 グループホーム澄水(こだま) ☎042(345)8383

〒187-0032 東京都小平市小川町1-495-1

◇指定共同生活援助 グループホーム澄水(やまびこ) ☎042(341)5656

〒187-0032 東京都小平市小川町1-365-16

◇指定共同生活援助 グループホーム澄水(こまち) ☎042(346)5166

〒413-8566 静岡県熱海市西熱海町1-24-1

◇介護付有料老人ホーム 熱海ゆとりあの郷 ☎0557(81)2322

◇熱海ゆとりあの郷診療所 ☎0557(81)5215